セキュアアクセスポリシーのアイデンティティロジック（プライベートアクセス）の設定

内容

[はじめに](#)

[背景説明](#)

[問題：ID照合ロジック](#)

[解決策：ダッシュボード・オプションの機能拡張](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、ネットワークオブジェクト、ネットワークオブジェクト、およびサービスオブジェクトのセキュアアクセスポリシーID照合ロジックについて説明します。

背景説明

プライベートアクセス用のセキュアアクセスポリシーの接続先の設定には、次のオプションのリストが含まれます。

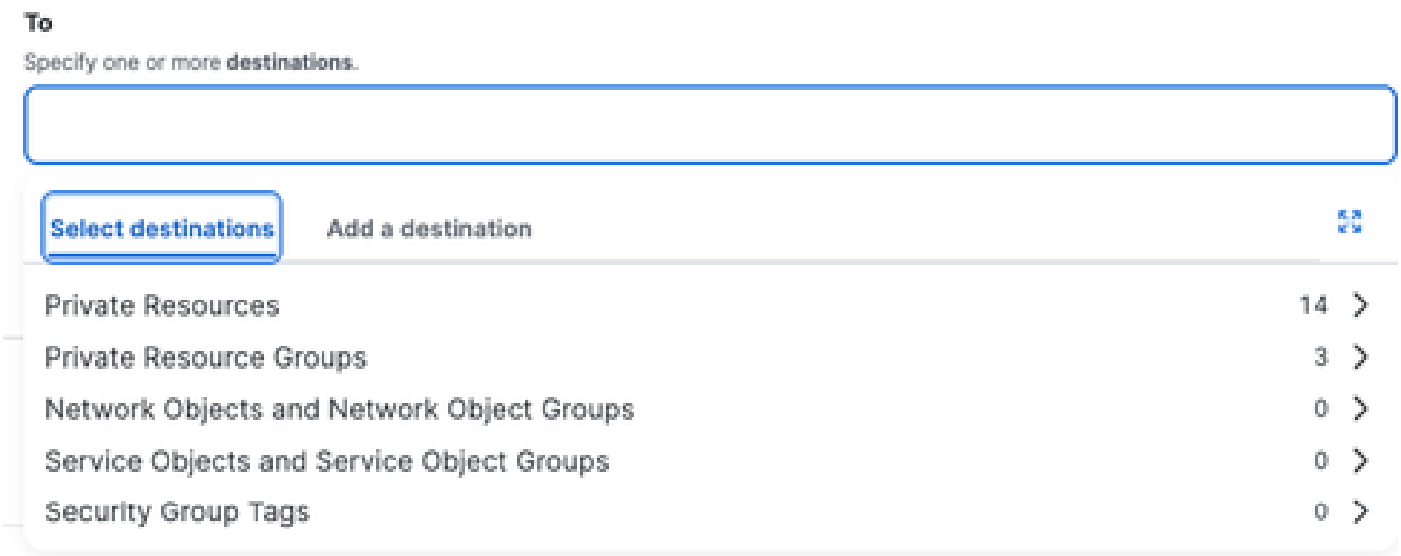
1. プライベートリソース

2. プライベートリソースグループ

3. ネットワークオブジェクトとネットワークオブジェクトグループ

4. サービス・オブジェクトおよびサービス・オブジェクト・グループ

5. セキュリティグループタグ



オプション3と4には(AND)のロジックがあり、ポリシーが正しく一致するために両方の条件を満たす必要があります。

例：

ネットワークオブジェクト： 192.168.1.10

サービスオブジェクト：TCPポート1024

このポリシーに一致させるには、IPアドレス192.168.1.10およびTCPポート1024を宛先とする必要があります。

問題：ID照合ロジック

現在のダッシュボード設計に基づくID照合のロジックにより、この照合が(AND)ではなく(OR)であることが示される場合があります。これは、ネットワーク・オブジェクトとサービス・オブジェクトが個別のオプションにあるためです。ただし、ロジックは、ネットワーク・オブジェクトとサービス・オブジェクトの間で常に(AND)です。

解決策：ダッシュボード・オプションの機能拡張

この問題を解消するため、Secure Access Design Teamでは、宛先の選択におけるネットワークオブジェクトとサービスオブジェクトの表示方法を変更しています。2つのオプション間の関係が(AND)ではなく(OR)であることを明確にしています。

この変更は、4月末から2025年5月に行われます。この変更を行った後は、ユーザー側での操作は必要ありませんが、API呼び出しを更新して新しいロジックを組み込む必要があります。

関連情報

- セキュアアクセスユーザガイド
- セキュアアクセスコミュニティページ
- テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。